

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

同種造血幹細胞移植後慢性移植片対宿主病に対するイブルチニブの効果検討に関する研究

1. 研究の対象

2021年10月1日から2023年9月28日までの間に、当院の血液腫瘍内科で同種造血幹細胞移植後の慢性移植片対宿主病に対してイブルチニブによる治療を受けられた方

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から2024年12月31日まで

3. 研究目的・方法

目的

下記の診療情報等を利用し、慢性移植片対宿主病に対するイブルチニブの効果について解明することを目的とした研究を実施するため、当院において慢性移植片対宿主病に対するイブルチニブの治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとにデータを選び、奏効率や奏効持続期間、合併症の詳細に関する分析を行います。

方法

この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報等：年齢、性別、原疾患名（造血器疾患）、全身状態、移植ドナーソース、急性期移植片対宿主病（GVHD）の有無、慢性GVHDに至るまでの経過（免疫抑制剤の使用状況を含む）、イブルチニブ開始時の状況（慢性GVHDの重症度とその他の合併症の有無）、イブルチニブ投与後の効果、イブルチニブ投与後の合併症及びその対応と転帰、生死の有無、死亡原因等

試料：該当なし。

5. 情報の提供先・提供方法

他の研究機関に医療情報を提供することはありません。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院（電話：代表 0463-93-1121 内線：2230）

研究責任者 東海大学医学部付属病院血液腫瘍内科 町田 真一郎

問い合わせ担当者 東海大学医学部付属病院血液腫瘍内科 町田 真一郎